

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性” ～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

公立高校入試問題(数学・社会)を

小学生風にアレンジ&子育てミニ講座第2回

～糟屋地区家庭教育支援チームかぶとむし～

平成30年8月9日(木)糟屋地区家庭教育支援チームかぶとむしによる「公立高校入試問題(数学・社会)を小学生風にアレンジ&子育てミニ講座第2回」がサンレイクかすやにて開催されました。参加者14名で、実技・演習形式で以下の内容を行いました。



① 最近の我が子の子育て等の振り返りと交流

「兄弟平等に扱うことの難しさ。」「直ぐに怒ってしまう。」「夏休みの宿題が終わっていない。」等、ご自身の今の話題について報告・相談しました。

② 参加者による前回の講座からの振り返り(吉田麗子さん)

ご自身、受験テクニックを駆使して乗り切った入試だったために、大人になってから苦労をしたことを話されました。「実際の社会で通用する本物の読解力を身につけることを、子ども達にさせたい。」という話に、参加者が共感されていました。

③ 数学チーム、社会チームに分かれてアイデアを考える。

参加者からは柔軟なアイデアがたくさん出ました。社会では、「選挙に連れて行く」「ニュースと一緒に見る」「県名双六」「新聞の活用」等14のアイデアが出ました。数学では、「家計簿」「ドリルだけではないたくさんの種類の問題を解く経験を積む」「日常を算数でとらえる日常算数ストーリー」等々9つでした。そうやっているうちに、今回の社会も数学も、そして前回の国語も「文章を読む力、情報選択の力、速読の力」が必要なのではないかという議論になりました。

④ ミニ講座「算数の苦手さを克服するために」(講師 中村 隆 氏)

おおよその定義と特徴、基本的なスタンス、具体的な教具などについて研修しました。

4回まで続くこの講座ですが、参加者共通して口にすることがあります。「自分の受けた頃の入試問題と違う。これを中学生が解くというのはとても大変なことだ。」「自分が解かずしては、子どもに何も言えない。」という感想でした。大人も学び続けます。

